

米子城略年表

山陰歴史館 國田 俊雄

米子城を6期にわけ

- 1 期 応仁の乱から吉川広家築城まで 1467～1592
 - 1467 応仁の乱始まり、山名宗幸が飯山に砦を築く（対 出雲守護代尼子氏）
 - 1524 出雲尼子経久が伯耆に攻め込む（大永の五月崩れ）
 - 1566 毛利元就による月山富田城攻撃 尼子氏滅ぶ
 - 1571 山中鹿助らによる尼子再興運動 羽倉孫兵衛による米子城攻め
立町、横町、魚町、塩町などの焼き討ちされる
- 2 期 1591 吉川広家による米子築城 1591～1600
 - 大山の円智（豪円）により、飯山を湊山に改名
 - 四十櫓、内堀、大手門、枡形の完成
 - 天守（土台のみ）外堀（一部完成）領主の館（未完成）
- 3 期 1600 関ヶ原合戦 吉川広家岩国へ転出
 - 駿府から中村一忠と横田内膳入国 城、米子の街の整備と検地
 - 伯耆にあった城下町を米子に集める 法勝寺、戸神、尾高、倉吉など
 - 1603 一忠が伯父の横田内膳を暗殺 米子騒動
 - 1609 一忠20歳で急死 中村家滅亡
- 4 期 1609 加藤貞泰岐阜黒野から來、清洞寺に父のため五輪塔を建てる
 - 1617 貞泰は伊予国大洲へ 池田由成城主 父母のために清洞寺に五輪塔を建
てる 1609～1632
- 5 期 1632 岡山から池田光仲來、荒尾成利が米子城を預かる（自分手政治）
 - 明治維新まで成富まで荒尾氏が城主 1632～1868
- 6 期 1868 明治維新から中村一忠300年祭まで 1868～1909
 - 1872 城山は士族小倉直人に払い下げられる
 - 1873 天守は山本新助が37円で買い取り、取りこぼされる
米蔵は松江監獄の女囚人用につかわれる
 - 1909 一忠公300年祭で、墓地の改修が行われミイラが発見される

